

議事録

審議会等名	つくばみらい市水道運営審議会
開催日	令和7年1月7日（火曜日）
開催場所	つくばみらい市役所谷和原庁舎 第2会議室
出席者	出席委員 青木謙二、朝比奈節子、飯島宣昭、飯村香代子、 岩井千鶴、大好三智子、片見礼子、木田裕通、野村俊光 欠席委員 中山和明、根本志枝、間根山知己 市出席者 小田川浩市長、飯泉都市建設部長、 小林参事兼上下水道課長、大澤課長補佐、 坂本課長補佐、柳橋係長、横塚主幹
議事	(1) 茨城県における水道事業の経営の一体化への参加について
議事概要	<p>1 開会 午後3時00分</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 市長あいさつ</p> <p>4 会長及び副会長選出 会長に青木謙二委員、副会長に中山和明委員が選任された。</p> <p>5 会長あいさつ</p> <p>6 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青木会長が議長となった。 ・議長が事務局に報告内容について説明を求めた。 ・事務局が議事内容について説明を行った。 ・議長が質疑等を求めたところ次の質疑があった。 <p>【質疑】</p> <p>委員 近隣市町村は、県企業局のどの広域圏に属しているのか。また、近隣市町村の「経営の一体化」に対する考えはどのようなものかを知りたい。</p> <p>事務局 つくばみらい市は、旧県西広域圏になり、常総市、坂東市、筑西市など12事業体がある。そのうち、7事業体は令和6年度中に基本協定を締結する意向を示している。残り5事業体については、「経営の一体化」に参加するつもりでいるが、時期を検討中である。守谷市、つくば市は旧県南広域圏に属し、つくば市は「経営の一体化」に参加せず単独経営で行っていくとの意向を示している。</p> <p>委員 「経営の一体化」後、谷和原浄水場などの施設はど</p>

	<p>うなるのか。</p> <p>事務局 地下水を汲み上げ、浄水して供給するという設備はなくなる予定であるが、すぐに廃止するのではなく、施設の耐用年数をむかえるまでは運用していく。</p> <p>会長 現在すでに、水道事業経営がひっ迫している事業者もあると思うので、県が水道事業経営の一体化を推進していくことで、将来的にどの地域においても安定的に水道事業経営をしていくということか。</p> <p>事務局 お見込みのとおりである。今後の水道事業をとりまく環境の変化、人口減少社会、物価高騰による設備投資の増加などがあり、多くの事業者の経営が苦しい状況になる。それを県で一括して管理し、共有できるものは共有して、安定的に安全な水を届けられるように水道事業を行おうというもの。</p> <p>7 閉会 午後 3 時 4 5 分</p>
配 付 資 料	・茨城県における水道事業の経営の一体化への参加について
そ の 他	傍聴人 1 名